

臨床工学科 3つのポリシー

○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は臨床工学を専攻し、5つの教育目標について下記の10項目を修得した学生に学士（臨床工学）の学位を授与します。

教育目標	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	
幅広い教養を身につける	②外国語理解・表現の基本的な能力を身につけ、保健・医療・福祉の国際対応や国際情報の活用に役立てることができる。	①医療人として社会で自立するための底力となる汎用的技能、態度、常識、健全な心と体を備えている。
	③文化・社会・科学と保健・医療・福祉のかかわりや、社会における自身の自立について、意見を表現することができる。	
高度な知識と技能を修得する	④臨床工学の最先端の進歩や周辺・応用分野の状況を把握している。	
	⑤臨床工学技士に求められる核となる知識について社会が求める水準まで修得している。	
	⑥臨床工学の現場で活用できる基本的技能を修得している。	
	⑦自ら臨床工学分野の課題を発見しその解決に向けて科学的に探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。	
チーム医療に貢献する	⑧チームの中で適切なコミュニケーションを取ることができ、臨床工学専門人材として主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている。	
思いやりの心を育む	⑨病める人や弱者の立場を理解し、思いやりの心を共感的態度で伝えることができる。	
高い倫理観を持つ	⑩保健・医療・福祉の倫理観を理解し、患者や家族の秘密を保持し、社会の規律を遵守することができる。	

○教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科の学位授与方針に掲げた 10 項目を達成するための教育課程編成の方針を以下に示します。

- 1) 学位授与方針に掲げた 10 項目を修得するための科目群を低学年から高学年へ適切な順序で配置し、効果的な教育課程（カリキュラム）を編成します。
- 2) 臨床工学技士に求められる核となる専門的知識・技能について社会が求める水準に全学生が円滑に到達できるよう「何ができるようになったか（アウトカム）」に照準を合わせたムリ・ムラ・ムダのない一貫した教育課程を編成します。臨床工学技士が扱う医療機器について正しく理解し、またその進歩に応じることのできる臨床工学技士を育成します。
- 3) 医療人として社会で自立するために共通に必要な知識・技能・態度を、全学科の学生の混成のクラスで学ぶ初年次教育「医療人底力教育」を配置します。チーム医療を担う一員として、他の医療職種との連携協力関係を築き、思いやりのある医療を実現できる臨床工学技士を育成します。チームの中で、医療機器安全管理にリーダーシップが発揮できるよう、必要な知識・技能とコミュニケーション能力を磨きます。
- 4) 臨床工学分野における最先端の状況を把握することのできる科目・授業を配置します。臨床工学分野の発展に貢献できる臨床工学技士を育成します。
- 5) 学生が主体的に学習に取り組む態度を促す科目・授業（アクティブ・ラーニングなど）をさまざまな形で行います。
- 6) 学生の習熟度に対応した科目・授業、サポートを行います。
- 7) データに基づき、学生の立場に立った授業やカリキュラムの改善を不断に継続していきます。
- 8) 各科目において、学位授与方針や授業形態に適した評価方法を用いて学生の学修成果を評価します。

○入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、教育目標および学位授与方針を踏まえ、臨床工学を専攻しようとする人のうち、次のような人を受け入れます。

- 1) 臨床工学分野の専門的知識・技能を学ぶことができる基礎学力を持つ人
- 2) 科学的な思考力・判断力・表現力の基礎が備わっている人
- 3) 医療機器の操作という重要な仕事に責任感をもって取り組む臨床工学技士を目指す意欲のある人
- 4) 病める人や弱者の立場に立って思いやることができる人
- 5) いのちの尊厳を理解し、社会の規律を守ることができる人
- 6) 多様な人々と適切なコミュニケーションを取り協働できる人
- 7) 医療機器の改善・開発への取り組みに意欲のある人
- 8) 臨床工学、関連医工学の研究に意欲のある人